# 令和６年度　学校運営連絡協議会実施報告書

1　組織

（1）都立東高等学校　学校運営連絡協議会（全日制課程）

（2）事務局の構成　　主幹教諭（教務部主任兼務）＝事務局長

（3）内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、各分掌（教務・生活指導・進路指導・総務部・学年主任）

（主幹教諭５名を含む）計 10 名

（4）協議委員の構成

保護者代表１名、同窓会代表１名、近隣中学校長１名、近隣小学校長１名、近隣保育園長１名、近隣町会代表１名、有識者２名　　計８名

2　令和６年度学校運営連絡協議会の概要

（1）学校運営連絡協議会（第１～３回）の日程等

・第１回　5 月 31 日（金）　　内部委員 10 人、協議委員 8 人出席

令和 5 年度学校経営報告、令和 6 年度学校経営計画、意見交換

・第２回　9 月 7 日（土）　　内部委員 6 人、協議委委員 8 人出席

校長挨拶、学校評価の内容検討、

本校の教育活動についての中間報告（経営企画室・各分掌・学年）

本校の課題についての意見交換

・第３回　2 月 7 日（金）　　内部委員 10 人、協議委員 6 人出席

本校の教育活動の最終報告（経営企画室・各分掌・学年）

学校評価に関する意見

今後の課題と課題解決に向けた方策について意見を求める

（2）評価委員会の開催日時

・第１回　5 月 31 日（金）　　内部委員 10 人、協議委員 8 人出席

学校評価の基本方針の確認、学校評価結果の分析・課題の整理

・第２回　9 月 7 日（土）　　内部委員 10 人、協議委委員 8 人出席

学校評価の活かし方の検討

・第３回　2 月 7 日（金）　　内部委員 10 人、協議委員 6 人出席

学校評価の項目・内容の検討及び実施案内

3　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（1）学校評価の観点

生徒、保護者、教職員、地域住民が、本校の活動をどのように評価しているか。

「学校生活全般」「学習」「生活指導及び特別活動」の観点で実施する。

（２）アンケート調査の実施時期・対象・規模

〇実施時期　令和６年１２月２４日～令和７年１月２４日

〇対象　　生徒、保護者、教職員、地域住民

・生徒在籍数　779（1 年 274　2 年 267　3 年 232）

| | 回答数※ | 備考 |
|---|---|---|
| 生　徒 | 718(494) | |
| 保護者 | 185(222) | |
| 教職員 | 30 (37) | |
| 地域住民 | 3 (5) | 学校運営連絡協議会　協議委員 |

※回答数の（　　）内は令和５年度

・生徒・保護者・教職員については Forms で回答とした。
今年度保護者の回答数は 185 であった。昨年度 222 と比較すると 37 名程度減少した。地域については学運協・協議員で代替した。

・今年度の行事は前年度同様コロナ以前の通常の形で実施した。教育活動をおおむね予定通り実施することができた。

（３）主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、施設美化、広報、いじめ防止、体罰防止、ライフ・ワーク・バランス

（４）評価結果の概要

・生徒・保護者・教員対象で、肯定的意見の割合が７割以上となっているのは、７４項目中６１項目であった。

・生徒全体の肯定的回答は平均で 75.0%。令和２年度 61.6%、令和３年度 81.8%、令和４年度 82.3%、令和５年度 70.4%であった。

・各学年生徒の肯定的回答が 70%未満の項目は「教育課程の充実」、「校内の清掃は行き届き、美化が保たれている」、「読書力の向上や話す力、書く力を伸長する様々な機会がある」、「進路の手引き・進路ニュース等の資料をよく読んでいる」、「東高校のホームページは充実している」、「様々な指導を通し、入学時に比べて体力が向上した」の６項目であった。昨年度と比較し２項目において改善が見られた。

（５）各項目の分析・考察

まず、1「教育課程の充実」については、生徒全体の平均はポイントを下げた。全体平均は過去４年間で２年度 67.6%、３年度 83.9%、４年度 81.8%、５年度 68.8%、６年度 69.6%と推移しているが、土曜授業の取り組みに課題がある意見が反映していると思われる。

「清掃」は２年度 48.3%、３年度 76.2%、４年度 73.2%、５年度 64.4%、６年度 61.4%と安定している。引き続き大掃除、部活動クリーンデイ等の取り組みを進めていく。

「『いじめ』に対して教職員が真摯に対応している」では、生徒の 78.8%、保護者の 80.5%が、「体罰が起こらない雰囲気になっている」では、生徒の 82.7%、保護者の 77.8%が肯定的に回答している。

12 月に実施した「体罰調査」での報告件数は 0 であった。また、「いじめ・体罰」対して教員の 96.7%が肯定的に回答しており、いじめ防止・体罰根絶を意識して取り組んでいることがわかる。

「授業への評価」は生徒の 76.7%が肯定的に評価した。また、保護者も 77.3%が肯定的に回答しており、これは昨年度と比較して 4.3 ポイント改善した。しかしながら教員は 96.7%が肯定的に回答しており、生徒・保護者のニーズにしっかり対応できていない実態が明らかになった。「進路に応じた講習等」については、令和 3 年度 88.3%、 4 年度 89.8%、 5 年度 76.7%、 6 年度 77.9%が肯定的に回答した。

「ホームページの充実」は、生徒の 67.5%が、保護者の 64.3%が肯定的に回答したが教員の回答は 43.3%となり、外部に向けて発信力の強化の必要性を感じた。

全学年平均で「入学前に比べて体力が向上した」は 69.1%（令和 5 年度：71.7%)、「学力向上」は 71.2%（同：67.8%)、「人間的成長」は 78.1%（同：76.7%）が肯定的に回答した。「入学時に比べて学力が向上した」については昨年 67.8%であったものが 71.2%に上がり、学力向上の課題が改善傾向である。

「東高に入学してよかった」は、生徒の 78.3%,保護者の 82.2%、教員の 90.0%が肯定的に評価している。生徒回答は下降傾向にあるが、保護者・教員の回答は向上している。入学満足度を上げていく取り組みや生徒対応の工夫が必要である。

生徒の自由意見では、トイレや雨漏り、床の腐食など教室や部室等の施設修繕に係る意見が１０件あった。保護者・地域からは校則および植栽についての意見などがあった。

以上、問題点をしっかり把握し、次年度の改善につなげたい。

4　学校運営連絡協議会の成果と課題

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・近隣学校長、住民、卒業生等に本校の教育活動について報告することができた。これにより近隣の学校・保育園との連携を確かなものとした。

・外部有識者の知見により、社会的な問題への対策について協議することができた。

・学校評価アンケートの妥当性を確認することができた。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

・学校や東京都教育委員会の施策についての情報発信が弱いこと。ホームページ以外に町内の掲示板等を利用して発信していく。

・地域との連携関係を再構築していき、近隣小中学校・保育園や町内会と連携していく。

5　学校運営連絡協議会委員及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（１）学校や東京都教育委員会の施策についてホームページを含め、複数の方法で発信していく。

（２）地域の子供対象のスポーツイベント、生徒の実習や教員研修等を通じて、地域の学校や公共機関との連携を深める。

6　職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

・職員会議　　参加なし

・企画調整会議　　参加なし

7　「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

・協議委員　８名

| そう思う | 多少そう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 1 | | | | | |

8　その他　なし